

学生向け学習動画2 「情報を正しく読み取る力を身につけよう：念願のNewパソコンを購入」

| 画面 | コンテンツ | 教師用解説 |
|----|--|---|
| 1 | <p>ストーリー1：大学生ゆうとのノートパソコン購入 ソファに座る大学生ゆうと（20～）が雑誌を読みながら言った。 ゆうと「あ～パソコン欲しいなあ」 ゆうとが大学の講義で准教授A（34）に言われたことを思い出す。 准教授A「いいか、各自テーマを決めて、これから3か月後にメールでレポートを提出してもらおうからな」 ゆうと「探してみるか」 ゆうとは雑誌や新聞を広げ、買いたいパソコンを探す。</p> <p>ナレーター「クエスチョン 商品・サービスを購入する際、どこから情報を得ますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友人/知人 ・家族 ・販売店 ・本/雑誌 ・新聞の折込チラシ ・カタログ・DM ・インターネット(ネットの口コミ) | <p>Point1 ストーリー1を流し、実際にパソコンを購入することをイメージしてもらおう。</p> <p>Point2 購入する際、自分の場合はどのような情報収集の仕方をとるか考えてもらおう。</p> <p>Qについて（VTR上での例が出る前にVTRを一度止める。生徒の発表等で一通り意見がでたらVTRで確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より身近な出来事として捉えるために、生徒に発表してもらおう。 ・対象物をパソコンだけでなく、携帯電話やゲーム機器などを例にして発表してもらおう。 ・自分たちの身の回りにある「情報収集」の手段には、どのようなものがあるか考えてみる。 |
| 2 | <p>ストーリー2：情報収集 ゆうとが近所の家電量販店に行き、ノートパソコンを見る。心の中でつぶやく。 ゆうと「かっこいいなあ」 ゆうと「でも、どれがいいかよく分かんないなあ」 複数のカタログを手にする。 ゆうと「カタログだけでも持ってくか...」</p> <p>ナレーター「クエスチョン 広告やチラシから情報を読み取るときはどんなことに注意したらいいですか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシの極端な安売りは数台限定など限られていることがある ・特別に良いことを強調している場合がある ・消費者にとってマイナスなことは小さい字で書いてある場合がある | <p>Point1 ストーリー2を流し、情報収集の手段の豊富さを知り、多くの情報の中から自分にあった商品を選ぶことが大切であることを知ってもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入の際、優先順位で条件を3～5つくらいイメージしてもらおう。（金額、性能、デザイン等）沢山種類がある中で、自分にあった商品を認識しやすくなる。 ・目の前にある情報をそのまま信じて良いのか、本当に信頼できる情報か見極める必要性に気づいてもらおう。 <p>Qについて（VTR上での例が出る前にVTRを一度止める。生徒の発表等で一通り意見がでたらVTRで確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告やチラシから情報を収集する際に注意すべき点はどんなことか発表してもらおう。意見を出してもらった後、ナレーターの例を確認する。 ・景品表示法における取扱いや、細かい文字、注意書き等、つい見落としてしまいそうな細かな内容までチェックすることで、トラブル回避につながることを確認する。 |

| 画面 | コンテンツ | 教師用解説 |
|----|---|--|
| 3 | <p>公園のベンチに座るゆうとは、カタログを手に、友人のけんじ（19）にスマートフォンで連絡をする。</p> <p>ゆうと「けんじの持ってるパソコンってどこで買ったの？」</p> <p>けんじは質問に答える（声のみ）。</p> <p>けんじ「俺はネットで買ったんだ。メーカー直営のサイトだから意外と安かったよ。それに購入した人の感想もたくさん書かれてるサイトもあるし、まずそこを見たら」</p> <p>ゆうと「そうか、じゃあ早速」</p> <p>ゆうとがスマートフォンでノートパソコンについての口コミサイトを調べる。</p> <p>ゆうと「ホントだ、使った人の感想が結構書かれてるなあ」</p> <p>ゆうと「え～このパソコンは壊れやすいのかあ...」</p> <p>ゆうと「CMでやってるあのパソコンはと...」</p> <p>ゆうと「なるほど、良い感じに書かれてる。結構参考になるなあ。俺もネットで買おう。」</p> <p>ゆうと「6万9千円か...。一気に支払うのはきついな。じゃ、カードで6回払いにすれば...月1万ちょっとか」</p> <p>ゆうと「うん、いいな」</p> <p>ナレーター「クエスチョン インターネットの口コミの問題点をいくつか挙げられますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当の情報かどうか不明 ・故意に良い情報（悪い情報）を書きこみしているかもしれない ・書いている人には良くて、自分にも良いとは限らない | <p>Point1</p> <p>ストーリー3を流し、販売方法の種類等について確認する。</p> <p>店舗販売、無店舗販売があるが、ここでは通信販売について考えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のメディアと比較。ゲートキーパーがほとんどいないことで、いわゆる「やらせ」や誤情報の頻出を生む構造であることに注意を促す。 ・インターネットの書き込み情報等、どれくらい普段の生活で信じているか等、意見を出してもらう。（本、日常雑貨等購入の際） <p>QIについて（VTR上での例が出る前にVTRを一度止める。生徒の発表等で一通り意見がでたらVTRで確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口コミの問題点、どこに注意をしたらよいか意見をだしてもらう。 ・ヤラセ業者が居ること、それを依頼する業者もあることなど、近年ニュース等で取り上げられる身近な話題を例に出して話しあってみる。 ・利用する環境によっても情報が異なることに気づいてもらう。 ・その情報が本当に自分にとって重要なものであるか等、購入する前の条件等も忘れてはいけないことに気づいてもらう。 |

| 画面 | コンテンツ | 教師用解説 |
|----|--|---|
| 4 | <p>ストーリー3：通信販売 画面に「注文して数日後」の文字が入る。 ゆうと「早く届かないかなー」 自宅のソファに座るゆうとが5万円と書かれたチラシを見る。 ゆうと「え～、ネットで注文したパソコンが安売りしてる～。期間限定か～、何だよ」 ゆうと「あ、そういえば、高校の授業で、一方的に契約を解除できるって習ったよな。クーリング・オフ」</p> <p>ナレーター「クエスチョン クーリング・オフとはどんな制度でしょうか？今回のケースでは、クーリング・オフはできますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーリング・オフとは・・・訪問販売など一定の商取引については、消費者、契約した後にも冷静に考える時間を与え（クーリング）、一定期間内であれば、消費者から無理由・無条件で契約を解除できる制度 ・しかし、通信販売ではクーリング・オフはできない | <p>Point1 ストーリー3の続きを流し、購入方法によっては適用されないシステムや法律があることをしってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーリングオフ制度についてどれくらい知っている生徒がいるか確認する。 ・その制度を正しく理解しているかを確認する。 <p>QIについて（VTR上での例が出る前にVTRを一度止める。生徒の発表等で一通り意見がでたらVTRで確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーリングオフ制度について生徒の持っている知識を確認した後、ナレーションを確認し、自分たちの知識が合っていたか確認する。 ・インターネット通販は、クーリングオフ制度がないので、サイト内の規約が全てであることを確認する。 ・値段や支払い方法だけでなく、解約の仕方や故障した際の連絡手段についても確認が必要であることに気づいてもらう。 |
| 5 | <p>ゆうとが電話をかける。 ゆうと「ノートパソコンの注文をキャンセルしたいんですけど・・・」 メーカー担当者「それはできません。規約にもありました通り、お客様都合によるキャンセルはできません」 ゆうと「え～そうなんですか。クーリング・オフは・・・」 メーカー担当者「あいにく、通信販売にはクーリング・オフ制度はございません」 ゆうと「・・・」 メーカー担当者「詳しくは当社のオンラインショップ・ご利用規約をご覧ください」 ゆうと「はい」 ゆうとがスマートフォンでサイトの規約を見る。 ゆうと「本当だ、できないって書かれてる」 ナレーター「クエスチョン インターネットショッピングであなたはチェックすることはどんなことですか？」</p> <p>価格 ・その他付帯費用（送料など） ・商品引渡時期 ・支払方法 ・返品ルール ・連絡先 ・利用者の評価（ただし口コミ情報の問題点） など</p> | <p>Point1 引き続きストーリー3のVTRを流し、相手業者の信頼性を見るにはどうしたらいいか気づいてもらう。通信販売の場合、対面販売でない分、気をつけなくてはいけないことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットで注文する前に、相手業者の信頼性についてどう見極めるか、解約条件はどうかなど、契約上のポイントを確認してからクリックしなくてはいけないことに気づいてもらう。 ・信頼性の一つに、ジャドマークやオンライントラストマークがついていることを伝える。 ・法律（特定商取引法）の記載があるか、メールの連絡以外に電話での連絡先も記載があるかなどを見る。 |

| 画面 | コンテンツ | 教師用解説 |
|----|--|--|
| 6 | <p>ストーリー4：購入後、商品による事故が起きた・・・ 画面に「商品が到着して数ヶ月後」の文字が入る。 ゆうとは友だちのみさ（20）からビデオチャットで話しかけられる。 みさ「それで、何をテーマにするの？」 ゆうと「自然エネルギーをテーマにして、レポートを書こうと思うんだ」 みさ「へえ、ゆうとにあってそうだね」 ゆうとが話していると、ノートパソコンから煙が出てきた。 ゆうと「これからそういう社会が……ん……。パソコンから煙が……」 ゆうとは慌てる。 ゆうと「わっわっ」 パソコンの画面が消えたあと発火し、周囲が少し焦げる。 ゆうと「わおっ！」 なんとか火を消したが、ゆうとがパソコンを見つめる。</p> <p>ナレーター「クエスチョン このような事故が起きた場合、あなたはどのようにしますか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メーカーに連絡する ・家族、友人や知人などにも伝える ・現場の写真を撮る ・起きた時間など状況をメモ | <p>Point1 ストーリー4のVTRを流し、商品によること故が起きた場合の消費者としての対応について考えてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品によること故が起きた場合、どのような対応をとるか書いてもらう。 <p>Qについて（VTR上での例が出る前にVTRを一度止める。生徒の発表等で一通り意見がでたらVTRで確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人で考え込まず、どのような対応をしたらいいか色々な人に聞くことも大切であることを知ってもらう。 ・こと故が起きた際、その後の処理として必要な情報を自分なりにまとめていると役立つことを知ってもらう。 ・現場の証拠写真、日付、起きた時間などを記録することが消費者として必要であることを確認。*製造物責任法 |
| 7 | <p>ゆうとがメーカーに電話をかける。</p> <p>ゆうと「もしもし、購入したノートパソコンから火が出たんですけど・・・」 メーカー担当者「詳しい状況と商品の型番をお聞かせください」</p> <p>ゆうとは答える。 ゆうと「えーと、半年ほど使用していました。型番はABC1DE2です。今日、突然、パソコンから煙が出て、その後に火も出ました・・・」 メーカー担当者「大変申し訳ございません。そちらの製品は、製造上の不具合がありまして回収しておりました。お手数をおかけしますが、こちらにパソコンを着払いでお送りください。新しいものと交換いたします」 ゆうとはノートパソコン周り（状況証拠）の撮影をする。 ゆうと「そうだ」 ゆうとは事故が起きた時間等をメモする。</p> | VTRを続けて流す |

| 画面 | コンテンツ | 教師用解説 |
|----|--|---|
| 8 | <p>ストーリー5：商品による事故が起きたその後 ゆうとは、コーヒーを入れながら、スマートフォンでメーカーのホームページを見る。</p> <p>ゆうと「本当だ。注文の時は気付かなかったけど“バッテリーが発火する可能性があるため回収”って書かれてる…」 ゆうとが椅子に腰掛けて、コーヒーを飲む。 ゆうと「やっぱり、同じよう目にあった人がいるんだな～。でも、まだ、問題を知らない人もいるんじゃないかな」</p> <p>ナレーター「クエスチョン 事故の再発を防ぐために、消費者としてできることはなんでしょうか？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3者機関にも情報提供する（消費生活センター、監督官庁） | <p>Point1 ストーリー5を流し、商品こと故後、消費者の対応として必要なことは何か考えてもらう。 購入時、製品のページだけでなく、トピックスやトラブル情報など細かい部分までみる必要があることを確認する。</p> <p>QIについて（VTR上での例が出る前にVTRを一度止める。生徒の発表等で一通り意見がでたらVTRで確認）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のこと故を防ぐためにも、当該業者だけでなく、第3者機関にも情報提供する必要があることを知ってもらう。 ・製品の事故だけでなく、消費者トラブルすべてに関連することを理解してもらう。 |
| 9 | <p>発展学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にどんな消費者トラブルがあるか取材してみよう ・他に、どんな販売方法で、どんな問題が起こりやすいかを考えてみよう ・クレジットカードでの支払いについて調べてみよう ・クーリング・オフができる条件は何かを調べてみよう ・パソコンの廃棄方法を調べてみよう <p>ナレーター 「これでこのトレーニングも終了です。かしこい消費者になるためには、自分自身がトラブルや事故に遭わないように気をつけるだけでなく、社会全体からトラブルをなくすための働きかけが重要なのですね。みなさんもこれから、消費者市民として、ニュースや情報、様々な制度を学び、よりよい社会を作っていくために、自分には何ができるかを考えながら行動しましょう。」</p> | |